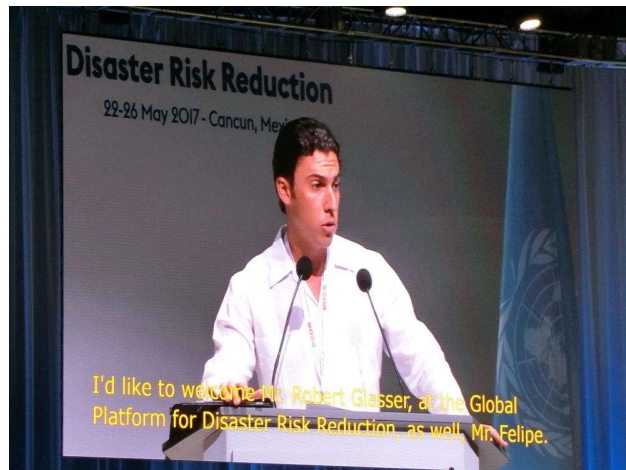


2017防災グローバル プラットフォーム ジェンダー報告

2017年6月27日
田中由美子

日時	主なプログラム	
5月23日 (火)	10:00 ジェンダーサイドイベントの打合	田中、石渡、 桑垣
	17:00～19:00 ジェンダープレイベント Preparatory Event: A roadmap for engagement of women's organizations in the implementation of the Sendai Framework	田中パネリ スト
5月24日 (水)	15:00 開会式 (メキシコ大統領)	
	17:45～19:00 ジェンダーサイドイベント From Sendai to the SDGs: Institutionalizing Grassroots Women's Leadership for Greater Resilience (WB, JICA, ActionAid, WEDO, UNDP, UN Women, etc.)	田中コメン テーター
5月25日 (木)	13:00～15:00 ジェンダー特別イベント Special Event on Women Leadership in Disaster Risk Reduction for Resilience	サンドラ・ ウー パネリ スト
5月26日 (金)	11:30～12:10 UM WomenとJICAの個別会合	田中、石渡、 桑垣
	13:00～14:00 JICA研究所とUNISDRのサイドイベント Innovative Actions on Build Back Better: Unpacking International and Local Cooperation Experiences	ゴメスJICA 研究員

国際会議場 Moon Palace



- 合計: 7000人
- 4 Plenary Session
- Leaders Forum
- 2 Ministerial Round Table
- 2 Special Session
- 15 Working Session
- 46 Side Events
- 62 Peer Meeting
- Market Place: 40 sessions & booths
- 60 Ministers

[Outcome]

- Cancun High-level Communique (インフラとHousing)
- Chairs Summary (7月UN, SDGs)

[Follow-up]

- 2018 地域会合(4)
- 2019 グローバル

The Cancun High-Level Communiqué : Ensuring the resilience of infrastructure and housing

The Challenge

- The risk of economic losses.
- Disaster severely damage infrastructure, housing, work places, livelihoods, ecosystems and economic production which are key pillars of growth and development.

The Opportunity

- disaster-reducing infrastructure, and adequate and safe housing

The Commitments

- BBB and “building better from the start”
- h) Promote people-centered, **gender-sensitive**, accessible and resilient urban development that supports all of society, including the vulnerable, poor and marginalized;
- i) Encourage and support the development of **multi-stakeholder** and **socially-inclusive partnership initiatives** for the development of resilient infrastructure and housing;

ジェンダー プレイベント 5月23日

A roadmap for engagement of women's organizations in the implementation of the Sendai Framework

仙台防災枠組の実施： 女性組織の参加への道筋

司会： モーリン・フォーダム（ジェンダーと防災ネットワーク）
マダヴィ・アリヤバンドゥ（UNISDR）

登壇者： 田中由美子（JWNDRR）
エレノア・ブロムストロム（WEDO）
メアリー・ジャック（ヴァヌアツのコミュニティリーダー）
シャロン・バグワン・ロール（フィジー、FemLink Pacific）
ダニエル・セイモア（UN Women 人道調整担当）

- 5月25日のジェンダー特別イベントのプレイベントという位置づけ。
- グローバルプラットフォームの議長サマリーへのインプットとする。
- それはさらに、7月に国連本部（NY）で開催予定の「持続可能な開発に向けたハイレベル政治フォーラム」に提出される。

ジェンダープレイベント

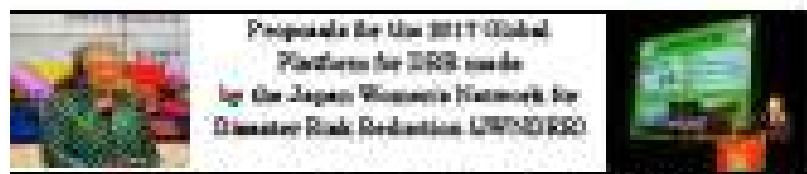


議論された内容

- どのようにすれば女性のリーダーシップを災害リスク削減政策の中に組み込むことができるのか (Maureen)。
- ジェンダーと災害リスク削減は、横浜戦略から始まり、兵庫防災枠組、仙台防災枠組を経て、すでに20年近くなっている。女性の参画およびリーダーシップを2020年までにローカル、ナショナル・ストラテジーの中に入れて達成。(Madhavi)
- 災害リスク削減をジェンダー視点に立って進めていくためには、女性が直面している文化的障壁、制度的障壁についてもっと対応していかなければならない。
- 女性は単なる情報の受益者であるだけでなく、情報の発信者となる必要がある。女性は計画、創造していくべき立場にある。女性のリーダーシップ強化には、先進的な技術のみならず、創造的でかつ地域の特性に適切な技術を活用することも必要。
- ジェンダーの課題を政策や予算に反映させるにはエビデンスが必要。データ収集や調査研究活動が求められる。UN Womenは、地域を分け、いくつかの国でパイロットプロジェクトを実施している。例えば、アジア・太平洋地域ではネパールでパイロットプロジェクトを実施

提言

- 私たちは変化を起こすことができる。変化は起きる。そして使用・表現している言葉（用語）も変えていかなければならない。兵庫防災枠組は世界的規模で、地域防災が必要であることを明言した。しかし、データや統計が十分に集計されていないために、十分に防災政策や計画にジェンダー視点が反映されていない。仙台防災枠組を実現していくためには、ジェンダー視点からのデータや統計収集を行い、さらにジェンダー視点から分析していくことが必要である。
- 女性の声を聴かないといけないし、女性の声が聴けるようになるメカニズムの構築が必要である。また女性のみならず多様性も考慮していかなければならない。ジェンダーや多様性の視点を進めていくためには構造的障害を乗り越えなければならない。そのためには、投資が必要であり、効果的な災害リスク削減をしていうためには、さらなる女性の能力強化やリーダーシップの発揮が必要である。女性の参画はまだ十分ではない。我々は、考え方を変えていく必要があり、前進しなければならない。指標だけ開発しても効果はなく、女性がグローバルな変革により積極的に参画していくことが重要である。



The JWNDRRR has been active to advance the Government of Japan for the revision of DRR policies and institutions with a gender and diversity perspective since its inception in March 2011, after the great earthquake hit eastern Japan. The JWNDRRR has also made specific policy proposals to the government of Japan regarding the formulation of the National Framework for DRR(2017-2020) from a gender and diversity perspective as a member of Global Women Major Group.

The JWNDRRR would therefore propose the following points in order to promote the realization of the National Framework:

11. Each government should be accountable for the gender-related activities specified in the National Framework as follows:

- ① Promoting leadership of women and gender equality principles 10.
- ② Improving data collection by sex, age and disability under guideline principle 10.
- ③ Improving women's access to basic services such as food, nutrition, education, reproductive health and rights and housing under principle 10 (1).
- ④ Promoting empowerment of women and people with disabilities, and make women to effectively lead the disaster response, reconstruction and rebuilding activities with gender-responsive perspective under priority action 11.
- ⑤ Promoting women to become capable for coping with disasters, including preparations, and improve their capabilities to save and protect women in the aftermath of disaster under principle 10.

12. We should pay attention to the diversity among women as well as that women can participate in every aspect and stage of DRR policies, striving for the achievement of gender equality and social justice.

13. We should make clear about the gender differences in access to and control over resources and opportunities by setting and reflecting gender specific indicators in order to achieve the disaster risk.

14. We should secure the learning opportunities for men to promote their awareness about stereotypical image of gendered division of labor.

15. We should promote partnerships between governments and civil societies so that we can promote DRR by taking comprehensive approaches to implement the UN Secretary-General's Resolution 1325 for women, peace and security as well as the SDG goals.

JWNDRRRからの防災グローバルプラットフォームへのメッセージ

- ◆ ジェンダー平等と公平の実現に向け、女性が主体的に災害リスク政策のあらゆる局面に参画していくため、「女性」の多様性に配慮し、性別分離を乗り越え、男性の積極的関与によるジェンダー差別を解消する。
- ◆ DRRのためにSDGsや気候変動、紛争解決のための安保理1325を包括的に捉えるために政府及びCSOのパートナーシップの連携強化を図るとともに、縦割りから総合的な政策の推進を図ること。

JWNDRRからの提言

- ◆指導原則19: 女性と若者のリーダーシップ
- ◆指導原則19: 性別、年齢、障がいの有無などに基づくデータ（災害統計）
- ◆優先行動30(J): リプロダクティブ・ライツを含む食料安全保障、栄養、住居、教育など基礎的サービスへのアクセスの改善。
- ◆優先行動32: 女性や障害者がエンパワーされ、ジェンダー平等かつ普遍的にアクセス可能な対応・復旧・復興・再建アプローチを公的にリードし、推進できるようにすること。
- ◆優先行動36: 女性が災害に備える力をつけるとともに、災害後の状況下で新たな生計手段を獲得する能力を高めるために、十分な能力開発措置を講じる必要がある。

ジェンダーサイドイベント

From Sendai to SDGs, Institutionalizing Grassroots Women's
Leadership for Greater Resilience

仙台からSDGsへレジリエンスを高めるための
草の根の女性リーダーの制度化に向けて

司会： Farah Kabir, Country Director, ActionAid, Bangladesh

登壇者： ニカラグアの女性組合の代表

ニカラグアの中央アメリカ防災センター事務局長

バングラデシュの草の根女性組織のリーダー

バヌアツの法務省女性局（ジェンダー保護クラスター）

コメンテーター： 田中（JICA）、エレノア・ブロムストロム（WEDO）

共催： WB, JICA, ActionAid, WEDO, UNDP, UN Women,
Huairou Commission

Global Platform for DRR, 2017: Side Event

From Sendai to the SDGs: Institutionalizing Grassroots Women's Leadership for Greater Resilience



24 May, 17:45-18:45
Expo 1

Both the Sendai Framework and the SDGs recognize the importance of ending all forms of discrimination against women and ensuring women's full and effective participation and equal opportunities for leadership at all levels of decision-making. Empowering women as public actors and change agents is a critical ingredient for building resilience. Join us during this side event to hear from grassroots women leaders on how they have been working together with their local, national and regional authorities and external agencies to foster collaborative and inclusive planning and decision making processes that reduce risk and vulnerability to natural hazards and climate change.

Panelists

Haydee Rodriguez, President, Union de Cooperativas de Mujeres Productoras Las Brumas, Nicaragua
Roy Barbosa, Executive Secretary, Center for the Coordination of Natural Disaster Prevention in Central America, Nicaragua
Laily Begum, Grassroots women's leader, Bangladesh
Rothina Ilo NOKA, Gender & Protection Cluster Coordinator, Department of Women's Affairs, Ministry of Justice and Community Services, Vanuatu

Chair

Farah Kabir, Country Director of ActionAid Bangladesh and Chair of Global Board of GNDR
With responses from JICA and Women and Gender Constituency



5月24日
ジェンダーサイド
イベントのポスター

コンタクトパーソン

- 世銀： アーノルド
- WEDO: エレノア
- ActionAid UK: ジェシカ

ジェンダーサイドイベント 5月24日



パネリスト

- **ニカラグア**： 1320人以上の女性が22の組合を作って生計向上、土地権や防災・気候変動対応の活動をしている。地域の災害レジリエンスを高め、日常的に生活向上するために必要な多様な活動をしている。リスクマップの作成、栽培作物の多様化、緊急用作物の耕作、土壌浸食防止、植林等を地方政府と協力しながら実施している。草の根の女性向けに訓練や能力強化を実施したり、情報共有や啓発活動が重要である。
- **ニカラグア(グアテマラ: 中米防災センター)**： 政府は、災害リスク削減における女性の貢献度について良く理解できていない。災害リスク削減のための政策や計画には、女性の参画が重要であり、参画は各自の主体的な意思で行われるべき。自分たちは、中央アメリカ地域における災害リスク管理の政策と、ジェンダー平等を推進するための地域政策の両方を推進している。

パネリスト

- **バングラデシュ**: 2013年から活動を開始し既に12の女性グループをコミュニティ防災のために組織している。ActionAidのレジリエンス指標プロジェクトから支援を受け、貯水池、灌漑水路、女性対する暴力等の活動をした。女性には、母、リーダー、ソーシャルワーカーの3つの役割がある。女性はバングラデシュでは、なかなか外の社会に出てこない。自分は、家族を養わなければならないと同時に、社会のために働かなければならない。女性グループを組織して生計向上などの取組を行い災害に備えている。
- **ヴァヌアツ(法務省)**: UNDPの支援で、サイクロンや気候変動に対応するために行政と女性組織のネットワークづくり(ProPa)をおこなってきた。女性は災害が発生すると最初に対応することになる。また、災害時の女性のニーズは男性のニーズとは異なっていることがある。女性に対する暴力も発生している。バヌアツ政府は、仙台枠組の実施に向けて、被災後、多様なステークホルダーから構成されるジェンダー・プロテクション・クラスターを設置し、女性の権利を守ることを推進してきた。

コメンテーター

- 田中： 仙台防災枠組の提言を実現していくためには草の根の女性の活躍が不可欠である。本日はたくさんの草の根の女性リーダーからの貴重な発言を聞いて非常に感銘を受けた。JICAは、数年前から、女性の能力強化とリーダーシップの向上を目指した研修を実施している。アジアのみならず中南米からも、政府と市民団体を招聘し、日本の地域の女性団体とも交流を図ってきた。今後、日本のNGOである男女共同参画と災害・復興ネットワークも、さらに草の根の女性リーダーたちの活躍について調査や交流を実施していく予定である。良い事例をもっとたくさん集めて共有していきたい。
- エレノア： 仙台防災枠組を実施していくためには、ジェンダー別のデータ収集、リスクアセスメント、草野の根の女性の能力強化とレジリエンスの向上、女性の防災政策や計画の実現への参加などが喫緊の課題である。自分は、Women's Major Groupの代表として、女性団体やサイドイベントで議論されたジェンダー課題について意見を取りまとめ、本会議でも発表・提言していく。

ジェンダー特別イベント



- 司会: Mr. Robert Glasser, UNISDR
- パネリスト
 - ① 世銀: Ms. Laura Tuck
 - ② Amina J. Mohammed, Dep. Sec. General of the UN (ナイジェリア):
 - ③ フィンランド: もと大統領からのビデオメッセージ
 - ④ ザンビア: Inonge M. Wina 副大統領
 - ⑤ 台湾/日本: サンドラ・ウー (ARISE)
 - ⑥ 赤十字: Elhadj As Sy, Sec. General
 - ⑦ 先住民団体: Medeleine Rothem, Canada
 - ⑧ UN Women: Mr. Yanick Glemarec, 事務局次長

議論された内容

- SDGsのゴール16は制度の変革について述べているが、そのためにもジェンダーへの取組みは重要。ジェンダー平等と女性のエンパワメントはDRRにとっても重要。
- ジェンダー格差の是正のために災害統計やデータ収集が不可欠。2030年までにもっとジェンダー平等な社会にしなければならない。
- 災害は人間開発にとってマイナスとなる。ザンビアでは気候変動の女性に対する影響が大きく、女性省が対応している。DRRにおける女性の役割と向上させるためには、ICTの活用が必要。
- 仙台枠組以降、民間企業の役割が注目されるようになった。企業も長期的な防災計画を作るようになった。女性が災害時にもっと活躍できるような支援が必要であり、企業はもっと女性を雇用し、昇進させる必要がある。
- 被災時には、飲料水や食料、暴力など多様なもんだが起きる。赤十字には、1700万人のボランティアがおり、ジェンダーへの取り組みをもっと強化していきたい。
- カナダには多くの先住民がいる。しかし委員会のメンバーになる女性は少ない。女性が参加する場合には、託児サービスなどが必要になる。
- UN Womenは、この場において、ジェンダーリスクに対応するプログラムを全世界で実施することを宣言する。
- もっと災害リスクに対するジェンダー格差についての啓発を行う必要がある。
- 紛争と災害についての議論もするべき。平和構築が開発の前提条件である。紛争解決にももっと女性のリーダーの活躍が必要。
- リスクは既存の社会経済の仕組みから起こる。

UN Womenとの会合

- 面談者：

① Mr. Daniel Seymour: Humanitarian Coordinator and Deputy Director (UN Women本部)、② Ms. Hiba Qasas: Chief of Crisis Prevention, Preparedness and Response (UN Womenジュネーブ)、③ Ms. Alma Pérez: Policy Advisor, Peace and Security, Regional Office Americans and the Caribbean (パナマ)

JICA側：地球環境部、ジェンダー室、専門員など。

- テーマ：UN Womenは、DRRにおけるジェンダー主流化促進として、以下のプロムラムの実施を25か国・地域で開始する予定。可能であれば連携したい。

Global Programme in Support of a Gender Responsive Sendai Framework Implementation: Addressing the **Gender Inequality of Risk** and Promoting Community Resilience to Natural Hazards in a Changing Climate” (GIR)

